

# インターネットの始まりと今

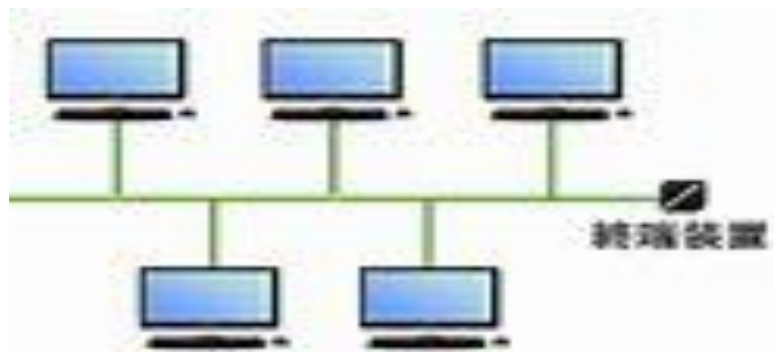
## 前回の復習～ネットワークの周辺機器～

( )を用いれば、無線LANアクセスポイントを介してケーブルなしでネットワークに接続できる。

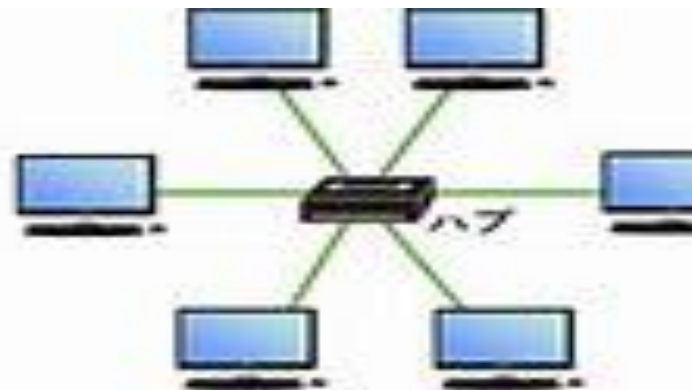
答え

無線LAN

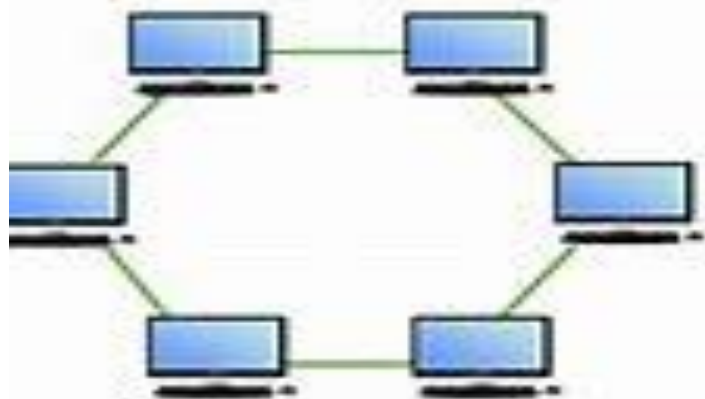
コンピュータを接続する3つの形態は？



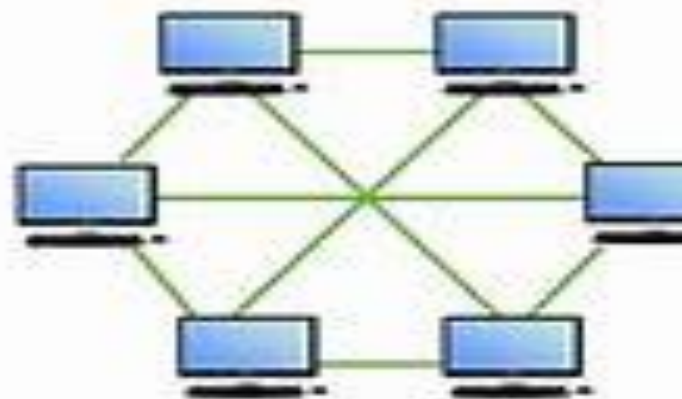
【バス型】



【スター型】



【リング型】



【メッシュ型】

# コンピュータネットワークの広がり

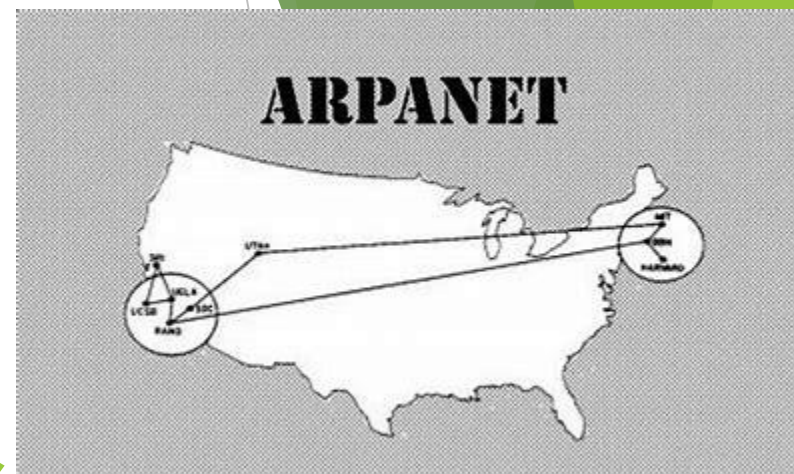
インターネットの始まりは、

1969年(昭和44年)！！

月面着陸した年にアメリカの国防総省がARPANET(アパーネット)をつくった。

# ARPANET (Advanced Research Projects Agency Network)

1969年に米国防総省の高等研究計画局 (ARPA、現在のDARPA) が導入したコンピュータネットワーク。各地に分散した大型コンピュータ同士を通信回線で相互接続したもので、後のインターネットの原型となった。



# ARPANETの目的について

「主要拠点が核攻撃を受けても全体が停止しない**堅牢**な分散型通信ネットワークを米軍が必要としていた」とする説明がよく行われるが、当時の関係者の多くは、当時の限られた大型コンピュータを地理的に離れた研究者も利用できるようにするために核戦争に備える目的は無かったと証言している。

ARPANET以前のネットワークは、メインのコンピュータが壊れると、全体の機能が停止してしまうものだった。

ARPANETは、各施設を複数の分散型ネットワークで、1か所が壊れても全体として通信が機能するように設計された。



ARPANETについて空欄を  
埋めてみよう！

# バケット方式

- ▶ APANETは、( **バケット方式** )という通信技術を採用していた。
- ▶ それまでは電話と同じように通信を始める前に( **送信型** )と( **受信側** )の回線を確認してから伝送を行う( **回線交換方式** )であった。
- ▶ ( **回線交換方式** )は、接続が完了するまで( **回線を専有** )し、( **他の人が使えない** )という欠点もある。
  - ▶ このデータの単位は、( **バケット** )という。そのため複数のユーザで一つの( **回線を共有して使うこと** )できる。

